

単元名 ひもひも ねんど(立体)

配当時間 3時間

単元の目標 (1) 粘土をひも状にしてできる形を見付け、表し方を工夫して立体に表すことができる。
(2) 粘土の感触や、手の動きを生かして、つくりたいものを思い付くとともに、その面白さを感じ取りながら、自他の表現のよさを友達と見付けることができる。
(3) 手や体全体を使って粘土にかかわり、形を変えてつくることを楽しもうとする。

標準的な展開例

01080203_001

【準備等】油粘土（1kgくらい）、粘土板、へら、汚れてもよい服装

| 学 習 活 動 | 留 意 事 項 など |
|---|--|
| <p>1～3 粘土をひも状にし、面白い模様や形をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○粘土に触れて、形を変えるなどして感触を確かめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・お団子がたくさんできたよ。 ・三角の山ができたよ。 ・だんだん柔らかくなってきたよ。 ・伸ばすとおもちみたいだよ。 ・一番長くしてみよう。 ・上から落としてみたら、爆弾みたい。 ・粘土を固めてサイコロをつくるよ。 ★粘土のひもで、いろいろな形をつくろう ○様々な長さや太さのひもをつくり、それを基にして面白い模様や形をつくる。 <ul style="list-style-type: none"> ・太いひもをトンネルにしたよ。 ・うずまきの模様ができたよ。 ○友達とつなげたり、アイデアを出し合ったりして活動を広げる。 ○粘土でどんなことができたか、どんなものに見えるか友達と語り合う。 ○後片付けをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書1・2上 P.18, 19 ・粘土をちぎったり、丸めたりして、手や体全体で粘土に関わる「粘土体操」をする。 ・体重をかけるなど体全体の感覚を働かせて活動に取り組めるよう、立って活動することを促す。 【評】指や手を使って粘土に関わり、形を変える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・児童の工夫や試行錯誤の姿を認めながら、多様な形や模様をつくる活動を展開する。 【評】作品を通して、粘土の性質を生かして、様々な形や模様を思い付く「思考・判断・表現」を評価する。 ・粘土を長くしたり、友達とつなげたりして思い付いたことを形にしてみる活動を促していく。 ・個人の粘土を使う場合は、粘土板を活用したり、印を付けたりして、複数の児童の粘土が混ざらないように留意する。 【評】作品を通して、粘土の表し方を工夫して立体に表す「知識・技能」を評価する。 ・全体で見せ合い、それぞれの面白いところや工夫したところなどを発表させるとともに、友達と活動できたことのよさを振り返らせる 【評】自分や友達の作品を見合う活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 ・ゴミなどが混ざらないように気を付けて、粘土を回収する。 |

【 備 考 】